

青森市匠の職人（平成24年度受賞）

福山 禮子（婦人・子供服仕立職人）

ひと針ひと針に、想いを込めて



主な受賞歴

'95年 全国技能グランプリ大会（洋裁職種）敢闘賞受賞
'01年 全日本洋裁技能コンクール 内閣総理大臣賞受賞

問い合わせ先

福山洋服店

〒030-096 青森市浪打一丁目 3-17

TEL 017-741-4129



福山さんの作品（左）と内閣総理大臣賞受賞楯（右）

【取材レポート】
小学生の時から洋裁が大好き。父が買ってくれたミシンで、隣近所や親戚の子供服を作っていたという婦人・子供服仕立職人の福山さん。
ミシンの使い方から布の裁断、刺繍に至るまで、当時は全て自己流。「布は高くて買えないから、母親の服をほどこいて何度も練習していました」と語ります。
洋裁学校で本格的に洋裁技術を学び、洋装店での修業を経て、福山洋服店を開業したのは昭和33年。「開店当時から常連さんが、孫を連れて洋服を買いに来てくれることも」と目を細めます。
平成13年には、7人いる孫娘さんのために、ひと針ひと針、いつにも増して心を込めて縫い上げた純白のウエディングドレスが、全日本洋裁技能コンクールで大会最高賞である内閣総理大臣賞に輝きました。
素材やデザインも次々と新しいものが出てくる洋裁の世界で、数々の受賞歴を持ち、全国の上位常連でいる理由は、その向上心にあります。
「テレビを見ても、いつも見るのはニュースキャスターや歌手、タレントさんのお洋服ばかり。ドレスの長さや襟元の形、刺繍のデザインなどを見てアイデアを膨らませています。常に勉強です」と技術向上の意欲は衰えません。
洋服のデザインに常に新しさを求めてきた福山さんの挑戦は、これからも続きます。

